

まちを知る 議会を知る

# みのかも 市議会 だより

2023.11.1  
No.195



## 令和5年市議会第3回定例会

令和4年度一般会計ほか各会計決算を認定

## 令和5年市議会第1回臨時会

議会構成を決定

議長に森 弓子議員、副議長に永田徳男議員

## 議会による事業評価を実施、市長に提言

第1回ワークショップみんなの新庁舎の様子

### 主な内容

- ◆臨時会の審議結果 ……2P
- ◆定例会の審議結果 ……3~4P
- ◆行政視察の報告 ……5P
- ◆決算審査の概要 ……6~7P
- ◆委員会審査の概要 ……8~9P
- ◆市政一般に対する質問と答弁 ……10~16P
- ◆活動ピックアップ、議会を傍聴しました ……17P
- ◆活動ピックアップ お知らせなど ……18P

## 臨時会の審議結果

令和5年

第1回

### 臨時会

10月19日に、市議会第1回臨時会を開催しました。

一般会計補正予算の議案の審議、監査委員の選任、各常任委員会委員の選任などを行い閉会しました。

新たに議長には、森 弓子議員、副議長には、永田徳男議員が当選されました。また、議会選出の監査委員については、新たに坂井文好議員が選任されました。



議長  
森 弓子



副議長  
永田 徳男

平素より市議会に対しまして、格別のご理解とご協力を賜り、心より厚くお礼申し上げます。

このたびの臨時会におきまして、議長、副議長に就任いたしました。多様な意見を集約し、公正かつ円滑な議会運営に全力を傾けて取り組んでまいる所存です。

市民の皆様におかれましては、引き続き議会へご理解とご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

第1回臨時会において、各委員会の構成が下記のとおり変更されました。

- ◆ **議会運営委員会** 委員長：田口 智子 副委員長：高井 実枝  
委員：山田 栄 村瀬 正樹 森 厚夫  
坂井 文好 渡辺 孝男
- ◆ **文教民生常任委員会** 委員長：金井 文敏 副委員長：柘植 宏一  
委員：山田 栄 瀬織 源太 坂井 文好  
森 弓子 田口 智子 岸 一夫
- ◆ **企画建設常任委員会** 委員長：渡辺 孝男 副委員長：谷本 梓  
委員：永田 徳男 渡邊 一子 亀井 滋昭  
高井 実枝 村瀬 正樹 森 厚夫
- ◆ **予算決算常任委員会** 委員長：永田 徳男 副委員長：渡邊 一子  
委員：全議員



議会選出監査委員  
坂井 文好

## 議案の審議結果

議案番号	議 案 名	主 な 内 容	結 果
議第63号	美濃加茂市副市長定数条例の一部を改正する条例について	副市長の定数を2人以内に改正するもの	原案可決(全会一致)
議第64号	令和5年度美濃加茂市一般会計補正予算(第4号)	540万円の増額、予算総額は238億1,982万円	原案可決(全会一致)
議第65号	美濃加茂市議会議会改革特別委員会の組織変更について	議会改革特別委員会の定数を8人から9人に改正するもの	原案可決(全会一致)
議第66号	議長辞職の件	議長の辞職を許可するもの	許可(全会一致)
選第1号	議長選挙	議長を決める選挙	森 弓子議員 当選
議第67号	副議長辞職の件	副議長の辞職を許可するもの	許可(全会一致)
選第2号	副議長選挙	副議長を決める選挙	永田徳男議員 当選
議第68号	美濃加茂市監査委員の選任について	監査委員の辞職に伴い、新たに坂井文好議員を選任することの同意	原案同意(全会一致)
選第3号	美濃加茂市・富加町中学校組合議会の選挙	組合議会議員の辞職に伴う選挙	森 弓子議員 当選 永田徳男議員 当選



## 定例会の審議結果

令和5年8月24日に美濃加茂市議会第3回定例会が開会され、会期を9月21日までの29日間と決定しました。その後、6億8,323万5千円を増額する令和5年度美濃加茂市一般会計補正予算（第3号）を含む28案件（陳情1件含む）を上程し、提案説明を行いました。そのうち、人権擁護委員の候補者の推薦について（諮第2号）を含む計2議案については、質疑、採決まで行いました。

また、前年度の一般会計、特別会計ほかの歳入歳出決算認定議案については、提案説明の後、監査委員が監査報告を行い、陳情1件については委員会付託し、散会しました。

第29日目（最終日）は、初日に採決した2議案を除く26議案（陳情1件含む）議案について、各常任委員会及び予算決算特別委員会の委員長報告の後、討論（反対）、採決を行いました。また、最終日に追加上程された議第62号については提案説明、質疑、採決を行い、定例会を閉会しました。

### 議案 クローズアップ

#### 議第48号 美濃加茂市常勤の特別職職員の給与の特例に関する条例について

○美濃加茂市常勤の特別職職員である市長、副市長の給料月額、美濃加茂市常勤の特別職職員の給与に関する条例（昭和41年美濃加茂市条例第21号）第3条で規定されているが、一定の期間についてこの条例とは異なる給料月額を規定するため特例の条例を新規に制定するもの。

#### 【概要】

市長の給与について、令和5年10月1日から令和6年3月31日までの6箇月の間、特別職給与条例に規定する給料月額から100分の10に相当する額を減額する。

副市長の給与について、令和5年10月1日から令和5年12月31日までの3箇月の間、特別職給与条例に規定する給料月額から100分の10に相当する額を減額する。

- ・対象者：市長、副市長
- ・減額率：100分の10
- ・対象期間：令和5年10月1日～令和6年3月31日（市長）  
令和5年10月1日～令和5年12月31日（副市長）

#### 議会日誌（主なもの）

8月	17日	「長良川わくわくたんけん号」出発式
2日	20日	シルバー人材センター要望
関・美濃加茂・郡上・下呂・富加道路網整備促進期成同盟会定期総会	21日	予算決算特別委員会（事業評価）
5日	25日	文教民生常任委員会協議会
おん祭MINOKAMO2023 夏の陣	25日	予算決算特別委員会（事業評価）
6日		議会改革特別委員会
県消防操法大会	26日	議会だより編集委員会
市スポーツ少年団大会	27日	議会運営委員会
みのかも健康の森 あじさいまつり写真コンクール表彰式		議会による事業評価に基づく提言（市長へ提出）
7日	10月	
議会改革特別委員会行政視察（飛騨市）	2日	岐阜県浄化槽連合会大会
8日	4日	文教民生常任委員会協議会
企画建設常任委員会行政視察（日進市・常滑市）		議会改革特別委員会
10日	6日	文教民生常任委員会
議会運営委員会		教頭会との意見交換会
18日	10日	議会だより編集委員会
議会改革特別委員会	11日	議会運営委員会
議員研修会（予算書・決算書の読み方）	15日	おん祭MINOKAMO2023 秋の陣
22日	17日	議会だより編集委員会
議会運営委員会	19日	市議会第1回臨時会
予算決算特別委員会（抽出事業説明会）		新庁舎建設特別委員会
市高齢者施策等運営協議会	25日	文教民生常任委員会協議会
24日	26日	企画建設常任委員会協議会
市議会第3回定例会（～9月21日）	27日	市文芸祭表彰式
新庁舎建設特別委員会		
議会だより編集委員会		
25日		
議員研修会（議員活動の注意点）		
26日		
ダボリージョン派遣生 帰国報告会		
9月		
12日		
予算決算特別委員会（事業評価）		
13日		
予算決算特別委員会（事業評価）		
15日		
議会運営委員会		

## 議案の審議結果

### 議案の審議結果

### 全会一致で承認・可決された議案

議案番号	議案名	主な内容
議第46号	美濃加茂市常勤の特別職職員の給与の特例に関する条例について	常勤の特別職職員（市長、副市長）の給料月額を一定期間、現条例とは異なる規定とするため、新たに特例の条例を制定するもの
議第47号	美濃加茂市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例及び美濃加茂市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律並びに子ども家庭庁設置に伴う基準府令及び基準省令の一部改正が行われたことに伴い、必要な改正を行うもの
議第48号	令和5年度美濃加茂市一般会計補正予算（第3号）	6億8,323万5千円の増額、予算総額は238億1,442万円。
議第49号	令和5年度美濃加茂市国民健康保険会計補正予算（第1号）	3,585万4千円の増額、予算総額は51億8,812万9千円。
議第50号	令和5年度美濃加茂市介護保険会計補正予算（第1号）	1億9,917万7千円の増額、予算総額は42億8,126万4千円。
議第51号	令和5年度美濃加茂市水道事業会計補正予算（第2号）	業務予定量の補正、収益的収入および支出の補正、資本的収入および支出の補正
議第52号	市道路線の認定について	市道加茂野487号線外4路線の認定
議第53号	美濃加茂市と可児市との間の証明書の交付等に係る事務委託の廃止について	相互の行政区域を越えて、住民票の写し等の証明書の交付事務棟を行ってきた事務委託の廃止について、議会の議決を求めるもの
議第54号	美濃加茂市と坂祝町との間の証明書の交付等に係る事務委託の廃止について	相互の行政区域を越えて、住民票の写し等の証明書の交付事務棟を行ってきた事務委託の廃止について、議会の議決を求めるもの
議第55号	美濃加茂市と富加町との間の証明書の交付等に係る事務委託の廃止について	相互の行政区域を越えて、住民票の写し等の証明書の交付事務棟を行ってきた事務委託の廃止について、議会の議決を求めるもの
議第56号	美濃加茂市と川辺町との間の証明書の交付等に係る事務委託の廃止について	相互の行政区域を越えて、住民票の写し等の証明書の交付事務棟を行ってきた事務委託の廃止について、議会の議決を求めるもの
議第57号	美濃加茂市と七宗町との間の証明書の交付等に係る事務委託の廃止について	相互の行政区域を越えて、住民票の写し等の証明書の交付事務棟を行ってきた事務委託の廃止について、議会の議決を求めるもの
議第58号	美濃加茂市と八百津町との間の証明書の交付等に係る事務委託の廃止について	相互の行政区域を越えて、住民票の写し等の証明書の交付事務棟を行ってきた事務委託の廃止について、議会の議決を求めるもの
議第59号	美濃加茂市と白川町との間の証明書の交付等に係る事務委託の廃止について	相互の行政区域を越えて、住民票の写し等の証明書の交付事務棟を行ってきた事務委託の廃止について、議会の議決を求めるもの
議第60号	美濃加茂市と東白川村との間の証明書の交付等に係る事務委託の廃止について	相互の行政区域を越えて、住民票の写し等の証明書の交付事務棟を行ってきた事務委託の廃止について、議会の議決を求めるもの
議第61号	美濃加茂市と御嵩町との間の証明書の交付等に係る事務委託の廃止について	相互の行政区域を越えて、住民票の写し等の証明書の交付事務棟を行ってきた事務委託の廃止について、議会の議決を求めるもの
議第62号	美濃加茂市議会委員会条例の一部を改正する条例について	市議会委員会条例の一部改正し、予算決算常任委員会を設置するもの
諮第2号	人権擁護委員の候補者の推薦について	任期満了に伴う後任委員の推薦（今井直樹氏 再任）
諮第3号	人権擁護委員の候補者の推薦について	任期満了に伴う後任委員の推薦（川合伸子氏 再任）
認第5号	令和4年度美濃加茂市介護認定・障がい者自立支援認定審査会会計歳入歳出決算認定について	歳入3,442万6,996円 歳出3,399万4,375円
認第6号	令和4年度美濃加茂市古井財産区会計歳入歳出決算認定について	歳入211万6,943円 歳出77万9,643円
認第7号	令和4年度美濃加茂市山之上財産区会計歳入歳出決算認定について	歳入124万2,178円 歳出66万7,196円
認第8号	令和4年度美濃加茂市水道事業会計決算認定について	収益的収支 収入16億234万6,999円 支出15億9,552万8,607円 資本的収支 収入1億7,939万6,634円 支出6億327万4,769円
認第9号	令和4年度美濃加茂市下水道事業会計決算認定について	収益的収支 収入22億1,581万3,329円 支出21億7,850万9,179円 資本的収支 収入13億3,258万5,764円 支出19億3,822万5,281円

### 議案の審議結果

### その他（賛否が分かれたなど）の議案

議案番号	議案名 主な内容	議決結果	議員名																
			谷本 梓	亀井 滋昭	高井 実枝	綿織 源太	渡邊 一子	田口 智子	永田 徳男	坂井 文好	岸 一夫	渡辺 孝男	村瀬 正樹	金井 文敏	柘植 宏一	森 弓子	森 厚夫	山田 栄	
認第1号	令和4年度美濃加茂市一般会計歳入歳出決算認定について	◎	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○
認第2号	令和4年度美濃加茂市国民健康保険会計歳入歳出決算認定について 歳入51億6,076万8,611円 歳出50億3,433万5,595円	◎	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○
認第3号	令和4年度美濃加茂市介護保険会計歳入歳出決算認定について 歳入41億2,140万8,685円 歳出39億1,881万7,081円	◎	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○
認第4号	令和4年度美濃加茂市後期高齢者医療会計歳入歳出決算認定について 歳入7億2,809万5,799円 歳出6億8,959万6,337円	◎	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○
陳第1号	「健康保険証の存続を求める意見書」の採択を求める陳情について	×	×	○	×	○	×	×	×	×	×	×	-	×	×	×	×	×	×



## 行政視察の報告



## 「文教民生常任委員会」

委員長 柘植 宏一

7月20日（木）、21日（金）の両日、三重県の名張市と伊賀市を視察しました。視察事項は自治基本条例やまちづくり協議会に関するもので、自治体の自治や、まちづくり協議会に関わる交付金や組織のあり方について、先進地の実践を学びました。名張市と伊賀市の自治基本条例などでは、市や議会ばかりでなく市民の役割が明記されていること、また自治会やまちづくり協議会の役割が何らかの形で規定されていることなどが参考になりました。名張市の青蓮寺・百合丘まちづくり協議会では、有償の移送サービスやコミュニティースクールにおける地域連携など、活発な実践活動が行われていることを学びました。



## 「企画建設常任委員会」

委員長 坂井 文好

去る8月8日（火）、企画建設常任委員会では全委員8名が参加、関係部署3名が随行し、計11名による日帰りの行政視察を行いました。午前中は日進市役所を訪問、「田園フロンティアパーク構想」について学び、市民農園（本郷）を見学、令和6年度末オープン予定の「道の駅」整備候補地を見て回りました。午後は常滑市役所を訪問、新庁舎基本構想・新庁舎建設基本設計・実施計画等の説明を伺い、開庁間もない新庁舎内部を見学して回りました。日進市の道の駅は国土交通省より、重点「道の駅」に選定され、遊休農地の有効利用として、地方創生や地域活性化の拠点として期待されています。また、常滑市新庁舎は当市と人口規模や財政規模が等しく、身の丈に合った庁舎として参考になる点が多いと感じました。それぞれ当市の現状の課題解決に向け、提案を行っていきます。





## 決算審査の概要

事業の進捗や予算執行の状況、議会の予算審議の趣旨が反映されているかなど、適正かつ効率的であったか慎重にチェックしました。また、第6次総合計画に掲げる事業について、議会として事業評価を実施し、市長に提言を行いました（詳細は18ページ）。

### 《市一般会計予算》

#### ◆ 歳入

#### 問 法人市民税が減額した要因は。

答 法人市民税は、調定額で上位10社中5社程が数千万円単位で減っており、前年度比1億円ほど減額している。また、令和2年にコロナの関係で徴収猶予ができるという法律があり、20社ほどの会社が1億円程の徴収猶予を受けており、合わせて2億円程の法人市民税の減少となっている。

今年については、コロナの影響もなくなり、現在の調定額から予測して、多少、法人市民税は増額していくと考えている。

#### 問 屋外広告物許可等の手数料の条例の詳細は。

答 岐阜県屋外広告物条例に基づき徴収している。事業所の名称や事業内容を表示する場合は、表示面積が10平方メートルを超えているものについて手数料をいただいている。

#### 問 保育士等処遇改善臨時特例交付金の詳細は。

答 令和4年の4月から9月に保育士等を対象にして、収入を3%、月9,000円程度引き上げる賃上げ効果が継続される取組をする園に対しての国の交付金になる。

#### 問 ふるさと納税の減額の要因は。

答 令和3年度より13%減っている。低額の返礼品の寄附の件数が多くなったことが一番の要因と考える。

#### ◆ 歳出

#### 問 財政調整基金積立金、減債基金積立金の内容と積立ての割合は。

答 財政調整基金については、積み立ての目的としては、大規模な災害や年度間の財政を平準化させるために積み立てをしている。減債基金については、市債を借りた翌年度以降に毎年返すことになる公債費の財源として、充てることになる。

#### 問 あい愛バスの運行経費の詳細は。

答 運行業務の負担金と、新車両の導入の負担金を5年で分割して1年ごとに払っており、その合計と

なる。人件費や、車両の整備なども含めた上で、1枚1枚領収書、請求書を確認した上で負担金を支払っている。

#### 問 総合戦略事業事務費の新型コロナ臨時交付金返還金（精算）の詳細は。

答 令和3年度の新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金については、合計で2億7,766万8,000円の概算払いを国から受け、交付金として充当した金額は2億5,334万8,397円となった。概算払との差額が2,431万9,603円を補助金の精算として国に返還した。

返還が生じた理由は、入札の差金や、補助金の交付見込額と実績額の差額等によるものである。

#### 問 多文化共生推進事業の外国人生活相談窓口設置委託事業と市役所の外国人ワンストップ相談業務の違いは。

答 外国人生活相談窓口は、外国人の生活に関する相談を専門として受け付けをしている。就労の相談や、病気、税金の滞納や年金なども含めて、生活に関する相談窓口をNPO法人へ委託している。

外国人ワンストップ相談窓口は美濃加茂市役所、駅南分室の窓口において、行政手続の相談を受けている。

#### 問 交通安全施設工事の詳細は。

答 カーブミラーや横断歩道について、各地区の交通安全協会の支部の方々の御協力をいただきながら点検をしている。要望等あれば順次、安全管理のために交換をしていきたい。

区画線については、道路の整備状況等にも影響するので、今年度からは土木課に移管をして、道路の安全管理と併せて順次進めている。

#### 問 高齢者活動支援事業の開催方法と支援内容は。

答 今年度の敬老会の開催方法は、ほとんどの地区で見守り活動を兼ねた記念品の配付になっている。補助金の交付は、各地域ともに75歳以上の人口1人あたり500円で積算をされている。

#### 問 保育園ICT活用事業の事業委託の詳細は。

答 個別の園児の挨拶や食事、個々の行動、対人関

## 決算審査の概要

係などを、その都度タブレットに入力し、それを蓄積して、園児一人一人個性を尊重しながら、保育内容の園内研修を行っている。そうしたことに対する監修や、指導・助言と、データの蓄積等々を委託している。

### 問 妊婦健康診査・不妊治療費助成事業の詳細は。

答 不妊治療については令和4年度から保険適用になっており、それまでは保険適用でなかったため、補助をしていたという状況にある。令和4年度の補助については、令和3年度から継続された方のみが対象となっているので、額は当然少なくなっている。今後の不妊治療についての市独自の補助は、現在のところ、保険適用になったことで考えていないが、今後状況を見ながら検討する必要はある。

### 問 可茂衛生施設利用組合負担金の施設建設公債費の詳細は。

答 ささゆりクリーンパークは平成11年に運用を開始し、今年で25年目を迎えるが、一般的にこれらの施設の耐用年数は40年となっており、これから長寿命化をしながら令和20年まで運用する。その間に新しい施設について検討して建てていくということで、昨年からの準備が始まっている。また、可見市が主導で現在候補地を絞り出しており、今年度から来年度にかけて決定すると報告を受けている。

### 問 のぞみ教室推進事業の実績、状況は。

答 のぞみの教室を利用した児童・生徒は、年間在籍した児童・生徒が70名、その中で、フィリピン、ブラジル、中国など、多国化している現状がある。できる限り通訳等の対応ができるようにしているが、全ての言語に対応することは、非常に難しい状況にある。ただ、支援員はいろいろ工夫をしながら、できる限り、読み書きや計算を中心とした支援ができるような体制で進めている。

## 《市介護保険会計》

### 問 第三者行為による損害賠償金の詳細は。

答 第三者行為について、例えば交通事故等の場合に、第三者による不法行為によって生じた介護保険の給付について、医療費と同様に事故を起こした相手方に対して損害賠償を請求することになるので、第三者がその分を負担することになる。件数は4件あった。

## 《市下水道事業会計》

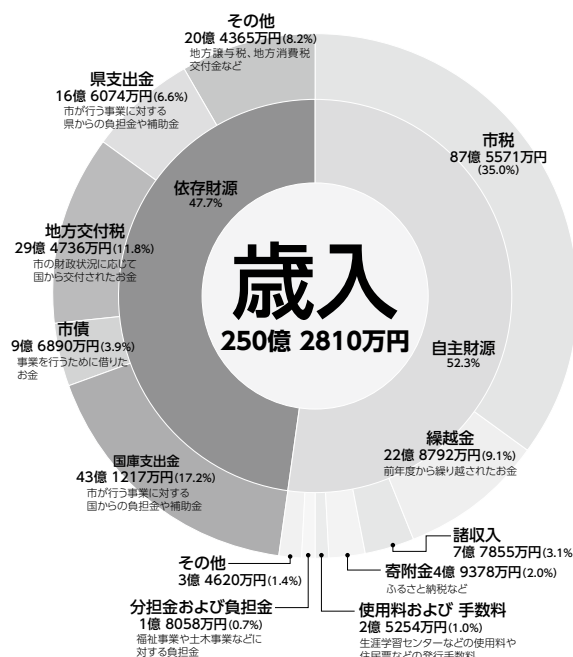
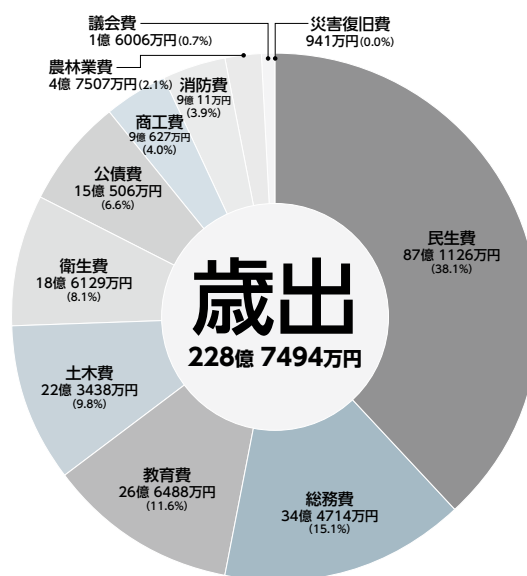
### 問 繰入金などの補填の詳細は。

答 下水道事業については、汚水事業と雨水事業と

2種類の事業がある。汚水事業は収益があるが、雨水事業には収益がないため、収支が不足する部分について一般会計から繰入れをしている。

また、汚水事業については、営業費用に係る部分が収入に対して多い状況になっている。こうした点を解消するために、下水道の統廃合を今後、検討していく。農業集落排水については、維持管理に係る費用が収入に対して多いので、蜂屋川公共下水道や、流域関連公共下水道に接続できる部分を今後検討していく必要がある。

## 令和4年度一般会計の決算状況





# 委員会審査の概要

本会議で付託された議案について、各常任委員会にて詳細を審査しました。

※ 《 》は議案名、◆は主な内容、( )は補正金額

## 文教民生常任委員会

《美濃加茂市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例及び美濃加茂市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について》

問 条例の詳細は。

答 従来は一律的に国の基準に従って設備運営基準を設けていたが、地方分権で各市町村において条例を制定し、基準を定めることとなり、従来の所管官庁は厚生労働省であったが、子ども家庭庁が設立され、所管が変わることに伴う改正である。

問 こども家庭庁が設立されたことにより変わったことはあるか。

答 この秋に国で、こども大綱がつけられる予定であり、それにのっとり、各都道府県、さらに各市町村でこども計画を策定する。

本格的な政策展開としては、次年度以降になり、準備を滞りなく進めていく。

《令和5年度市一般会計補正予算（第3号）》

◆ 出産子育て応援事業（2,128万3千円）

問 委託料の詳細は。

答 これまでは、9月末までに出産、妊娠した際には5万円ずつの現金給付となっていたが、岐阜県がポータルサイトを県内で一斉に作り、今まで現金であったものが1円1ポイント換算で5万円相当のポイントとなり、これをポータルサイト上で利用できるようにするための委託料である。

委託先は県が委託しているリンベル株式会社という会社であり、出産・子育てに伴うサービスや、地域の特産品や季節の食べ物などが購入できるサイトである。

問 事業の実績と対象者に対する案内方法は。

答 令和4年度分として787名の出産された方、妊娠された方がそれぞれ5万円ずつ申請をされた。対象者への案内については、妊娠時の母子手帳交付時に行っており、出産後は1か月半の面談時に申請手続きを行っている。

◆ 東図書館駐車場整備事業（3,654万千円）

問 事業の詳細は。

答 東図書館では年間20回程度駐車場が不足し、近隣の土地を借りることがある。土地のリースについても検討したが、賃借料がかかることもあり、JA古井支店用地を購入することとなった。

土地を取得することで新たに45台の駐車場が確保でき、これまでの駐車場50台と合わせて95台の駐車場となる。既存の建物の活用についても学童保育としての活用などを検討したが、老朽化による改修費用や維持費がかかるため、建物を解体した後の更地での取得という結論に至った。

問 取得する土地をまちづくり協議会の拠点等、駐車場以外の活用の可能性はあるか。

答 現時点では計画としてはないが、市内のほかの施設も老朽化している中で、公共施設等総合管理計画にも統合や複合化ということもあり、将来的には検討していく必要がある。

◆ 前平・東総合運動場事業（827万千円）

問 東総合運動場照明設備等移設について、野球場がなくなることはないか。

答 今道路の拡幅に伴う影響で、東総合運動場の野球場にある分電盤の移設等が必要になるが、野球場への影響は最小限にとどめられ、引き続きテニスも野球も使用できる見込みである。



東総合運動場

《令和5年度美濃加茂市介護保険会計補正予算（第1号）について》

◆ 償還金（1億706万7千円）

問 前年度より償還金が多い要因は。





## 委員会審査の概要



☑ 介護給付費負担金、地域支援事業交付金、支払基金交付金について実績報告を行い、精算した結果、余剰金が出たため返還を行うもの。前年度の実績に基づき、給付見込みを立てるが、コロナの影響もあり介護サービスの利用控え等があったと推測される。

### 《「健康保険証の存続を求める意見書」の採択を求める陳情について》

賛成多数で採択すべきものと賛成多数で決した。

#### ・主な賛成意見

マイナンバーカードはまだ取得していない人も多い。取得率も100%になることは難しいと思われる、現状マイナンバーカードに対する不安も多くの国民や市民が持っている。陳情提出者の意見を重く受け止め、意見書を国に提出することで改善されることを期待する。

#### ・主な反対意見

マイナ保険証にすることによって、医療費控除の確定申告が簡単になる、過去の診療データ等に基づいた診断が受けられるなどのメリットがある。現行の保険証が廃止された以降でも、マイナンバーカードを持っていない人には保険証の替えとなる資格確認証が発行されるため、問題はない。

## 企画建設常任委員会

### 《美濃加茂市常勤の特別職職員の給与の特例に関する条例について》

☑ 不適正な事務処理3件に対する処分であるのか。

☑ 不適正な事務処理3件に対する処分である。

☑ 弁護士への相談費用は。

☑ 弁護士費用は、今年度221万1,000円で契約しており、今回の相談についても、契約金額の範囲内である。

☑ 今後どのように組織を固めていくのか。

☑ 現在、指針を作成中であり、まずは組織として大きな方針を定める。それを具体的に実行するためには、行動変容等が必要であり、指針をしっかりと核に置きながら、一人一人の職員の意識と行動を変えていく。ミスは起こりうるものであり、組織でカバーしていく。

### 《令和4年度市一般会計補正予算（第3号）》

◆ 道路新設改良費（6億1,309万4千円）

◆ 河川総務費（1億862万1千円）

☑ 市債の詳細は。

☑ 市債の補正については土木費から2事業あり、道路施設補修点検事業と急傾斜地崩壊対策事業で上程している。

道路施設補修点検事業では、交付金を活用して事業を行う予定であったが、約40%の交付率であった。この事業は、道路利用者の利便性や安全性に帰するものがあることから、市債によって事業を行っている。

急傾斜地崩壊対策事業については、崩壊箇所、危険箇所に指定されているところのコンクリート擁壁を作る事業で、生命や、財産を守るために市債を充てて事業を行っている。

☑ 国庫支出金と県支出金の減額の詳細は。

☑ 国と県の予算よりも地方からの要望が多かったため、減額になったと思われる。補助金の減額によって、事業が停滞しないよう、代わりに市債を充てることが認められている。その市債については、緊急自然災害防止対策事業債を活用し、充当率100%、交付税措置率70%で、大きな交付税措置が得られる。

### 《1市8町村との間の証明書の交付等に係る事務委託の廃止について》

☑ 証明書交付の実績は。

☑ 令和4年度の実績については、美濃加茂市の発行件数7万3,171件に対し、広域交付で美濃加茂市民が他市町村で取得した件数は426件であり、全体の0.58%であった。令和元年では8万6,905件に対し、537件で、低い割合で推移し、この4年で約100件減っている。コンビニ交付が促進されており、影響は少ないと考えている。

議案や条例案の概要は、下記からご覧いただけます。

■ 美濃加茂市議会ホームページ

<http://gikai.city.minokamo.gifu.jp>

■ 閲覧方法

トップページ

本会議日程と議案

令和5年 第3回定例会



市政一般に対する質問と答弁

# 市政一般に対する質問と答弁

13人の議員が登場し、市政全般に対して、事業の執行状況や将来の方針などについて質問を行いました。  
(掲載順は質問を行った順番)

掲載する内容は、各議員が行った質問と答弁の一部を要約したもので、議員から提出された原文を尊重して掲載しています。ご不明な点は、各議員にお尋ねください。

また、全ての質問と答弁は、「美濃加茂市議会 議会中継」にて配信していますので、こちらをご覧ください。

なお、議会の公式な記録は、後日公開される会議録にてご確認ください。



金井文敏 副議長

美濃加茂市議会 議会中継

<https://smart.discussvision.net/smart/tenant/minokamo/WebView/rd/council.html>

美濃加茂市議会 議会中継

検索

議会中継



視聴方法

トップページ

会議名一覧

令和5年第3回定例会

9月6日・7日

一般質問

会議録検索システム

<https://ssp.kaigiroku.net/tenant/minokamo/SpTop.html>



## 坂井文好 議員

### 度重なる事務処理ミスについて

問 「令和3年度新型コロナウイルスワクチン接種対策費国庫負担金」で、国への返還金の支払いが遅れ、延滞金が発生した。原因追求と再発防止策は。

答 国庫負担金事務を担当する職員の「返還金は発生しない」という誤った思い込みにより、県担当者から送付された通知などの行政文書について、メール受信後の事務処理が適切に行われなかった。その結果、担当部署として返還金が発生しているという情報把握や共有ができていなかったことが主な発生要因である。再発防止策として、通知文書や電子メールなどの行政文書の取り扱いについては「美濃加茂市行政文書規程」に基づき、適切に取り扱うことを職員間で共通認識し、確実な行政事務の執行を心がけていく。また、各種業務に係る進捗管理体制の見直し、管理職のマネジメントの強化を図る。

問 行政実務適正化検討会議が設置され、政策執行の指針が策定中であるが、概要と施行期日は。

答 検討会議は、これまで12回開催し、行政実務適正化アドバイザーの助言をいただき、「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」の事務処理誤りに関する原因究明を進め、再発防止策を含む「不適正事務処理事案報告書」の作成を進めている。

報告書に記載された再発防止策をルール化した「政策執行の指針」は、法律による行政の原理を強く認識し、組織の規範、根拠の規範、規制の規範など、行政に対して関わりをもつ法令を改めて揭示し、職位の役割や事務決裁規定、適切な行政文書の取り扱い、効果的な情報共有の方法、行政手続や内部統制のあり方、政策の立案方法、業務の執行と進捗管理の方法など、職員が政策を執行するにあたり、遵守すべき事項を具体的に示している。

このたびの臨時交付金にかかる不適正事務処理事案は、組織的かつ構造的な課題が顕在化したものと捉え、強い危機感を抱いている。指針については10月1日施行である。

## 市政一般に対する質問と答弁



村瀬正樹 議員

### 年度途中における歳入状況と 当初予算確保の見通しについて

問 自主財源は。

答 令和5年7月時点において、市民税、固定資産税、都市計画税、軽自動車税、市たばこ税で約42億6千万円の収入があった。昨年の同時期は約39億円であり約3億6千万円の増収である。全体的に増収傾向にあることから、当初予算は確保できると見込んでいる。

問 依存財源は。

答 普通交付税は、当初予算額20億円に対し、交付決定額は約23億5千万円となり、約3億5千万円の増額となった。他の交付金も増額となり、この状況から当初予算を確保できると考えている。

### 道路のゴミ対策について

問 クリーンパートナー制度拡充への取り組みは。

答 現在57団体、約1,900人の皆様に活動をして頂

いている。市では、その活動をサポートすべく、ボランティア保険の加入や、扱いやすい電動式草刈り機を導入するなど、活動する方々の安全確保や作業環境の充実を図っている。今後とも、より多くの方に参加していただけるように制度や機材などの充実に取り組んでいきたいと考えている。

問 小中学校でのゴミゼロへ向けた教育は。

答 掃除の時間などに、ごみのない学校にしたいと願い隔々までほうきで掃いたり、雑巾で汚れを一心に磨いたりすることは、ゴミを出さない、汚さないといった環境美化の心の育成につながっていると考えられる。各教科、道徳の時間、特活（特別活動）及び総合的な学習の時間で、環境に関する学習の充実を図っていく。

### 水道水の安全について

問 有機フッ素化合物などの水質検査の現状は。

答 市では、法令等の基準に従い、計画的に水質検査を実施し、市のホームページに公表している。現在のところ、基準値を超える項目はない。有機フッ素化合物のうちPFOAとPFOSの2種類について、今年度5月の森山浄水場や年2回実施の山之上浄水場での定期検査で不検出となっている。



森 弓子 議員

### あい愛バスについて

問 あい愛バスの今後の改善・利用拡大について、また移動に困っておられる高齢者の立場から考えて、どのような交通手段があると良いとお考えか。

答 「バス停が遠い」「乗り継ぎが不便」「乗車時間が長い」「市街地は路線や便数が多く利用しやすい環境があるが、駅から遠い地区は利用しづらく不便で不平等」などの意見があり、現行の定時路線では、要望に応えるには限界がある。今後はダイヤ改正や、「AIオンデマンド交通システム」など新たな運行システムについて検討している。

問 下米田では、あい愛バスについては、右回りや左回りではなく、連絡所や、牧野交流センターなど、下米田を一周することの要望が多いが、自主運営を含む地域課題に対しての考えは。

答 地域課題の解決のために、地域の皆さんが考え、自主的に運営していく事業として行動の第一歩を踏み出し、活動を実施するに当たってはそれぞれの場

面で支援を行う事が行政の役割だと考える。

### 災害時の暑さ対策について

問 今年の夏の暑さは特別のことではなく、毎年続く予想されているが、災害時の避難所としての観点から二次避難所の小中学校体育館・牧野交流センターに冷房が必要ではないか。

答 夏の気温が、35℃を超える酷暑が当たり前になってきている。このため、災害時における避難所の環境整備として、昨年度、一次避難所と二次避難所に指定している小学校・中学校の体育館及び保育園、牧野交流センターなど23カ所の公共施設に、計37台の大型扇風機を設置した。「災害時等におけるレンタル資機材の提供に関する協定」を締結しており、大型扇風機では避難所の健康管理が困難な場合は、業務用移動式エアコンを設置できる体制を整えている。体育館の冷房設備は必要だと感じているので、個別施設計画において空調についても考えていく。



## 市政一般に対する質問と答弁



永田徳男 議員

### 自治基本条例について

問 今こそ、市民としての責務をはっきりさせる「美濃加茂市自治基本条例」の制定に向けた行動が、急務と考えるが、自治基本条例をどのように捉えているか。

答 「自治基本条例」は、一般的に自治の基本理念や、自治体運営の基本的なルール、住民の権利、まちづくりの方向性等について規定したものであり、各事業を進めていく上でも必要なものであると考えてはいるが、現状では、市が自治会等に様々な事項を依頼している。あるいは、行政任せなど、互いに自分ごととしてとらえきれていない面がある。

まずは、市として、めざすべき目標設定や、市民の皆さんの声をしっかり聴けるよう、職員の意識改革が必要であること、また、市民の皆さんは、自分たちのまちは自分たちで守り続ける、といった思いを持ってもらうことなど、市全体で、その土台を作っていく必要があると考える。

### 商業ビルの今後の考え方について

問 商業ビルの維持管理費と収入とのバランスはどのようになっているのか、また、令和4年12月21日に「美濃太田駅 南地区 市街地再開発事業、事業協力に関する基本協定」が締結された。美濃加茂市として、その開発事業に今後どのように関わって行くのか、また、参画する考えはあるのか。

答 令和4年度の実績は、歳出が約7,750万円、歳入が約1,780万円となり、△5,970万円である。

平成10年度からの累計は、歳出が約17億4,700万円、歳入が約8億6百万円であり、△9億4,100万円となる。これを経過年数で割ると1年間の維持管理コストは約4千万円弱となる。

再開発事業は、市街地再開発準備組合によって調査、検討が進められている。現段階では、再開発事業区域に、商業ビル区域を対象に含むことは考えていないが、商業ビルが立地する東側が、この地域全体のまちづくりに重要な位置を占めているものと認識しており、今後この駅前帯を広いエリアとしての面での再開発を、段階的参画も含め、検討を進めたいと前向きに考えている。



森 厚夫 議員

### 新庁舎建設について

問 新庁舎整備ロードマップ、ステップ1の見える化についてのワークショップの結果はどうだったか。

答 7月下旬に3日間開催し参加者は88名であった。参加者のアンケート結果として、多くの方が「市の業務について理解が進んだ。」などの回答であり、一定の成果があったと考えている。DX推進による効率化や機能の集約、誰もが使いやすい立地であること、安心安全なまちの存在であることが求められているとの意見が多くあった。

問 新庁舎の役割、機能、複数候補地案はどのように考えているか。

答 ステップ2～3のワークショップは、9月24日、25日、30日に実施する。その後、市民全体の傾向を把握するため、1500人を対象に市民アンケートの実施を予定している。12月には、ステップ4～5のワークショップを計画しているが、その際に、市

としての複数候補地の案を示したいと考えている。

### 自治会組織について

問 自治会協議費のあり方は。

答 加入者のみが支払うことによる不公平感が生まれていることは認識している。自治会員のみのみが行うことであるのかまずは関係部署間において、事業目的の見直し検討を行っている。自治会加入、未加入による不公平感の是正に向けて、協議を進める。

問 ゴミ集積管理の対応は。

答 集積所の管理は自治会で行っており、市からは管理費を支払っている。近年不適正排出や自治会未加入者とのトラブル等、自治会員への負担が増大している。不適正排出については、警告シールの貼付や見回りの強化を実施し、自治会未加入者へは自治会加入や集積所使用の承諾を管理者に得ていただくことを紹介しているが、抜本的な解決に至っていないのが実情である。ゴミ集積に関しては、自治会の負担軽減、不適正排出、高齢者や自治会未加入者の増加、また、居住地域の特性等多くの課題がある。現在、環境課を中心に関係部署と協議を重ねており、長年継続してきた方針を根本から見直そうとしている。

## 市政一般に対する質問と答弁



谷本 梓 議員

### 自治体におけるユニバーサルデザイン(UD)フォント\*の活用について

**問** 美濃加茂市の公式文書や印刷物、ホームページ等すべてUDフォントに統一しては。

**答** 市で発行の「広報みのかも」は令和元年度からはタイトル等を除き本文で全面的に使用。市のホームページは今年度リニューアル予定で全体的にユニバーサルデザインに配慮したものにしたいと考えている。市が発行または庁内等で使用する様々な文書でのUDフォントの使用については、ダイバーシティ社会実現の観点において市民一人ひとりにやさしい行政である事、庁内における事務効率の向上にも有益だと考えられるので今後は費用対効果を含め関係各課と協議を進めていく。

**問** 学校教育現場でのUDフォントの導入は。

**答** これまでも初任者研修や研修講座等において学習障害やディスレクシアについて研修を実施し、その中でUDの紹介をしてきた。今後も周知を図ると

ともに活用を促す。学校におけるUDフォントの導入は関係各課と連携を図りながら検討をしていく。

### 美濃加茂市における民間イベントの支援について

**問** 民間イベントの支援は。

**答** 令和4年第4回定例会において「イベント支援を行う仕組みづくりをしていく」と答弁し、研究した結果、やはり広報紙では紙面に制限があることからWEB媒体で仕組みを構築すべきと考え、第2回定例会では市内のイベント情報をAIによって集約発信するサイトの活用を検討すると答弁した。実施主体が民間であっても行政であっても、AIで把握して掲載できるこのサービスは事務的な負担も少なく、来年度70周年を迎える当市にとって様々なイベントを開催して市民の皆様とともに盛り上げていくという観点から非常に有益であると判断し、令和6年1月以降のイベントが登録できるよう年内をめどにWEBサイトの開設を進めている。

※ユニバーサルデザインフォント…あらかじめ、障害の有無、年齢、性別、人種等にかかわらず多様な人々が利用しやすいよう都市や生活環境をデザインする考えに基づいた誰もが、見やすく、読みやすいフォント。



亀井滋昭 議員

### 定住促進住宅について

**問** 新規入居者を受け入れるための対策は。

**答** 入居募集時に部屋の現状をホームページに掲載するなど周知方法を工夫して、わかりやすく情報の発信をしていく。

**問** 行政と地域との連携は。

**答** 連絡所との情報共有や三和まちづくり協議会等と連携して定住促進住宅の利用促進に努める。

### 農業の担い手について

**問** 農業に関わる人を増やしていくことは。

**答** みのかも農業ビジョンは、担い手育成を重点政策に掲げており、農業に関わる人を増やすことを目的として、農業サポーターの育成に取り組んでいる。

**問** 自給的農業は。

**答** 地域循環や無農薬栽培、地産地消等、自給的農業の農産物に注目して、循環システムを構築することは、大きな可能性を秘めていると考えている。

**問** 市独自の農地バンク等の取組は。

**答** 農地中間管理機構を通じることで、市内の農地の集積・集約化が可能となっており、また小規模な農地の貸し借りは当事者間でも可能と考えるので、自給的農業を対象とした市独自の農地バンク制度は予定していない。

### 押印廃止について

**問** 代理人の納税証明請求での委任状は。

**答** 個人の代理人申請については押印廃止とし、法人申請の場合は、代表者以外は関係者の確認が困難なことなどから、法人の代表者印の押印を求めている。今後は他市の取り扱い状況を参考にしながら、廃止に向けて取り組んでいく。

### 補助金等について

**問** 市民の経済的負担軽減は。

**答** 子どもの健全な育成のために、今後は部活動のみならず、学校外でのスポーツ・文化活動への参加の現状や、子どもや保護者のニーズを踏まえて、地域人材や関係団体、民間企業などの教育資源や人材を生かし、保護者の負担をできるかぎり軽減できるような仕組みづくりが必要であると考えている。

## 市政一般に対する質問と答弁



渡邊一子 議員

### とびだせ市長室について

**問** いつから始まり、毎月どれくらいの頻度で実施し、1回の所要時間はどれくらいか。

**答** 平成25年7月から始まり、コロナ禍による中断もあったが、これまでに1回約1時間程度、67回実施した。

**問** 申し込みの仕方に何か決まりはあるのか。

**答** 市内在住、市内に通勤、通学している10名以上の団体、グループを対象としている。参加人数は、最大で20名程度にしている。

**問** ホームページに詳細を掲載しているということだが、広報、回覧などでの周知はあるのか。

**答** 現在は、ホームページのみ、今後いろんな媒体で周知していくことが、重要と考えている。

**問** とびだせ市長室での成果はあったのか。

**答** 市民感覚ならではの提案や対話を進める中で、市民団体の皆様と認識のすり合わせ、共通化ができ、議題に対する課題解決の一助になったケースが

ある。

### 市民の声について

**問** 市民の声は、年間どれくらいあるのか。

**答** 令和4年度には、およそ600件あった。

**問** 回答が遅いと聞いたが、何故か。

**答** 内容によっては、遅くなることもある。市長決済や担当部署、県、国との調整があると遅くなる。今後は、進捗管理、現状をしっかりと伝えていくようにしていく。

### 下水道事業について

**問** 宅内溜めますが、他の市町村と違うのは何故か。

**答** 地形の起伏、河川が多い土地柄のため、多くのポンプがある。汚物の詰まり、汚水の停滞をできる限り少なくし、維持管理費用を低減するために設置している。

**問** 宅内溜めます清掃をしなければならない理由は何か。

**答** 管路の詰まりや悪臭などの不具合を防ぐことができる。下水道管や汚水ポンプ、処理施設の不具合発生を低減させ、下水道事業の健全経営、利用者の皆さんの利益にも繋がると考えている。



山田 栄 議員

### 市制70周年事業について

**問** 事業対象の分野、内容は。

**答** 記念式典の開催に加え、幅広い世代の方と、機運を盛り上げていくため、様々な分野の事業に「70周年」の冠をつけ、特色ある内容として実施する。これとは別に市民参画型の提案事業も公募したい。また、ダボ・リージョンとの「姉妹都市提携35周年」の記念事業も予定している。さらに、来年度の商品開発を見据えた市内6業者による「70周年 ブランディング事業\*」を今年度から実施している。

**問** 事業総額は。

**答** 平成26年度に実施した市制60周年事業額は約2,000万円であり、現在本事業の予算規模・事業内容を含め精査している。また、ふるさと納税の応援メニューに「70周年記念事業に関すること」を追加し、財源の一部として活用したい。

**問** NHKの朝ドラ「らんまん」の脚本家、長田育枝さんの講演会開催の取り組みは。

**答** ご本人は、坪内逍遙博士の生涯を描いた「当世極楽気質」の脚本をお書きになったりするなど、坪内逍遙博士に関する作品も多く、長田さんの講演会開催は顕彰活動拡大の良いきっかけになるのではと思われる。市としてもできる限りの支援をしていきたい。来年度は坪内逍遙大賞の第20回の年であり、その話題づくりにつなげていければ、と考えている。「第20回坪内逍遙大賞」は「市制70周年記念」ということを踏まえた、授賞式にしていきたい。

### 新庁舎整備事業について

**問** 公共施設等管理計画の進め方の今後の方針は。

**答** これまでの公共施設等の最適化のための3大方針・5原則に沿い、新庁舎の整備を進める必要がある。長期の視点で歳出削減を図るため、公共施設の総数・総量を減らす視点、公共施設の経営効率を向上させる視点を重視して進める必要がある。

\*ブランディング事業…地方のモノづくりや文化的な要素に、全国各地の自治体でプロダクトの企画・監修実績があるBEAMS JAPANパイヤーの経験値を取り入れ、隠れた魅力や人材を再編集し、地域産業・産品への新たな価値観を創造していく事業。



## 市政一般に対する質問と答弁



田口智子 議員

### 教育現場の課題について

**問 教員・支援員の人手不足については。**

答 年度当初に配置を計画していた教員数に対して、小中学校合わせて12名の不足の状況が今だに改善されていない。支援員については医療的ケアが必要な子どもに対し、9月から配置できることになっている。

**問 教員の働き方改革の進捗状況は。**

答 教員の時間外勤務については昨年度と比較すると、小学校において特に5月、6月に増加している。

要因として教員の未配置が考えられ、一人一人の教員の負担が大きくなっていることが考えられる。中学校においては5月に増加したものの全体的には減少傾向にある。コロナ禍以前の令和2年度と比較すると平均時間が小・中学校いずれも減少しており、働き方改革が推進された結果であると考えられる。しかしながら、時間外勤務が80時間を超える教員も散見される現状もあるため、働き方改革を一層推進し

ていく。

**問 中教審\*で提案された保護者のクレームや過剰な不当要求に対する学校解決支援コーディネーターの設置の考えは。**

答 教育センター内にクレームや過剰な不当請求に対応するため校長経験者を配置している。

### シティプロモーションについて

**問 特色あるシティプロモーションの方向性は。**

答 市民にとっては「住み続けたいくなること」、市外の皆様にとっては「訪れたいくなること」つまりは美濃加茂市のファンになり関係人口になることだと認識している。これまで観光プロモーションや、市内産品のブランディングによる魅力創出を実施していたが、今後はワーケーションや、継続的に進めている里山千年構想などを美濃加茂市の特色として活用を検討し、更なる魅力発信に努めていく。

\*中教審…中央教育審議会の略称。文部科学省に設置されている審議会で、生涯学習や人材育成に関する重要事項を調査審議し、文部科学大臣又は関係行政機関の長に対し、意見を述べる。



瀬瀬源太 議員

### 国保改正後の保険料の推移について

**問 改正国保法が2018年に施行されたことにより保険料率はどうなっていくか。**

答 団塊世代が75歳に到達し、後期高齢者医療保険への移行、社会保険適用拡大などにより、国民健康保険の被保険者は減少するも、医療の高度化などにより、1人当たりの医療費は年々増加している。R6年度から、県納付金の算出基準のうち、市町村ごとの、医療費水準の格差の反映を徐々に無くし、保険料水準の県内統一が行われる予定であり、市の医療費水準は低く納付金は抑えられているが、医療費水準の格差の反映が解消するため、納付金額が増え、保険料率は増額する見込み。

### 安心安全な学校給食の提供について

**問 学校給食における輸入小麦及び輸入小麦を原材料とする食品の使用状況は。**

答 揚げ物等に使用する小麦粉やうどんは、100%

国産を使用している。パンやソフト麺は50%が国産、ラーメン・焼きそばの麺は輸入小麦を使用している。

**問 学校給食に使用する食品材料について遺伝子組み換え食品の使用状況は。**

答 遺伝子組み換え表示義務のある農産物、及びこれらを原料とする加工食品について、遺伝子組み換え食品は使用していない。

### 中学生の制服等に関する校則について

**問 中学校における制服の意味は。**

答 愛校心や連帯意識を醸成、中学生としての自覚をもち勉学や活動に励むために制服がある。制服は登下校時や儀式的な集会、修学旅行や職場体験活動などの学校行事、校内テスト、受験、校外学習などに着用する。

**問 校則は何のためにあるのか。**

答 学校が教育目的を実現していく過程において、児童生徒が遵守すべき学習上、生活上の指針として定めている。

**問 制服に関する校則は何年に制定されたか。**

答 明治時代に導入が始まったと言われ、大正から昭和にかけて普及したとされている。

## 市政一般に対する質問と答弁



高井実枝 議員

### 美濃加茂市社会福祉協議会について

問 運営状況の把握と事業委託の状況は。

答 3年に一度、指導監査を実施しており前回の結果は良好。今年度が実施周期で、適切に監査する。

福祉課、高齢福祉課が総合社会館の指定管理も含めて14事業を委託している。

問 こども食堂については。

答 支援は社協が行っており、開設運営の相談、食材の確保・提供、利用者募集チラシ作成、助成金交付要綱に基づく金銭的支援をしている。市としては支援策の周知、公共施設利用料の免除を行っている。

### 高齢福祉について

問 介護予防活動の把握と補助金増額は。

答 年初にアンケート調査を行い、「高齢者福祉計画および介護保険事業計画」を作成中。現在、自主サークルや社協が実施するサロン事業に補助金を交付しているが、活動が広がるなど活発になれば増額

につながるものとする。

### 図書館および貸館について

問 中央図書館の雨漏り、およびドアの状況は。

答 7月に発生した雨漏りの原因は屋上の防水シートの劣化による。11月までの工期で現在、シートの取り換えを実施中。自動ドアの不具合も修復済。

問 図書館、生涯学習センターのWi-Fiと貸館料金については。

答 Wi-Fiは早期設置に向け検討中。貸館料金は要綱に定めており、3年ごとの料金見直しを行っている。利用者にとって適正かつ、利用しやすい料金体制が維持できるよう令和7年度に向け作業を行っていく。

### 若者活躍推進について

問 今年度の成人式の概要は。

答 実行委員会が来年1月7日に向け、企画開催する。今年度は全校区同時刻で実施する。

問 地域活性化スクールプロジェクトなどの若者活躍推進事業の成果は。

答 参加した高校生からは地域と関わることの喜びや達成感により自信につながったとの声があった。



柘植宏一 議員

### 人事施策について

問 不適切事務処理の多発と現行研修の<sup>そご</sup>齟齬は。

答 これまでの庁内研修を振り返ると、知識や技能の習得が中心であった。今後は、研修した内容を職場の業務に落とし込んでいく実践的な研修も実施していくとともに「組織や個人の価値観や存在意義」を見つめ直し明確化していく、対話型の研修プログラムも導入していきたい。

問 社会福祉協議会における退職職員の雇用については。

答 市からも福祉に関する事業を、多く委託している。委託事業や、補助事業については、その事業が適切に実施されているか毎年、検査、確認をしている。また3年に一度実施する、社会福祉法人の指導監査と合わせ、人員をはじめとする運営面についても、今後も確認していきたい。

### 市の基本的方針について

問 6次総の見直しについては。

答 総合的な計画として、多くの事業が、「まちづくり宣言」に直接つながらず、行政サービスの体系全体が理解しづらく、教育など、直接「まちづくり宣言」に表示されない分野があるなど、政策の位置づけが見えにくいことが課題である。

問 教育大綱の位置づけについては。

答 「地域や家庭とともに学び支え合う社会の実現」のためには、地域の人材、自然、施設を活用し、市民参画による子どもを育てるまちづくりの推進が必要不可欠である。教育に関わる課題も多様化・複雑化しており、見直しに当たり市長部局関係課の参画をより一層深めていきたい。

問 自治基本条例については。

答 市として目指すべき目標を設定することや、自分たちのまちは自分たちで守り続けるといった市民の思いを土台として作っていくことが、自治基本条例の制定に向けた第一歩になると思うので、まずは地域の皆さんの声をお聞きし、議論しながら、検討して行きたい。

# 活動ピックアップ①

## 議会改革特別委員会視察

委員長 田口智子

8月7日（月）飛騨市役所に視察に伺いました。

飛騨市議会では、議会基本条例について、その主旨や議会改革の継続的な取組を進めるための評価制度などについて説明を受けました。

また、条例に基づき、広報公聴委員会を設置し市民にわかりやすい議会運営を推進する為に、情報共有と市民との意見交換会を行っています。

市役所総合政策課では、飛騨市ファンクラブと飛騨に訪れ地域の課題解決をサポートするプロジェクト「ヒダスケ」について説明を受けました。



## 議会を傍聴しました

今回の定例会を傍聴された方からいただいた主なご意見の一部を掲載します。

- たくさんの質問があり、行政の対応もテキパキとしていました。市の抱える問題の多さに驚くと同時に、常に市の発展を考えてくださる市議会と行政の皆さんに感謝したい。
- 今回の議会を傍聴させていただいたことにより、行政事業の多さを痛感いたしました。議員の方、職員の方、大変な仕事ですね。今後大きな課題として新庁舎問題があります。その他たくさんの課題もあり、今後のご活躍を期待しています。
- 市外からの傍聴です。今回、市議会を見せていただき、市町村の規模は違うが、同じ課題を抱えていたり、反対に美濃加茂市は我が町で現在悩んでいる課題に取り組んでいたり、勉強になることがたくさんありました。

## 《市役所にインターンに来ていた加茂農林高校の生徒の皆さんが議会を傍聴しました》

- 美濃加茂市以外の地域の良さを話していて、その良いところを取り入れようとしていて良いと思いました。初めて市議会を傍聴させていただいて、すごく緊張感があって良いと思いました。
- 市議会がどのように行われているのかを初めて知った。美濃加茂市がよくあるためにいろいろ深く話をしていたので興味を持ったので、違う市議会も見たいと思った。
- 市議会の様子を初めて見て、市をよりよくするために責任を持って発言していて、緊張感があり良いと思いました。市議会自体もともと知らなかったもので、これからもっと興味を持っていきたいです。





# 活動ピックアップ②

## ～議会による事業評価～ 今年度の提言を行いました。

市議会では、「予算決算特別委員会」を設置し、予算と決算の総合的・一体的な審査を行っています。その活動の一環として、議会が市の各事業を個別にチェックする「事業評価」に取り組んでいます。

今年度も、対象事業の抽出やそれぞれの事業に対する評価などについて審議を重ね、6事業について、議会としての意見を付し、市長に直接提言をしました。これらの提言が、執行部において十分に検討がなされ、来年度の予算や各事業の取り組みに反映させることを求めています。

今後も、この提言に基づく予算や事業への反映について、執行部から報告を求めるとともに、引き続き調査を行っています。



### < 令和5年度 議会による事業評価 提言一覧 >

事業名	評価	提言の主な内容
あい愛バス運行事業	拡充➡	○あい愛バスを、周辺地域においては、交流センターなどの拠点と市街地を結び幹線運行に特化し、その拠点までは、有償ボランティアによるコミュニティ移送やデマンドタクシーの併用などによって補完する。市街地にあつては、同様に周辺地域の基幹運送路線も活用した市街循環路線運行を強化する。 ○周辺自治体との連携の可能性や、病院やスーパーなどの民間事業者との連携も併せて検討すべきである。
ヘルステック健康まちづくり事業	継続➡	○当初の事業計画を修正し、現状の資源、機能を活用した事業として再構築すべき。 ○健康10か条については、どのような仕組みで具体化するかを明示し、市民の行動につなげることが必要である。
学校運営協議会事業	拡充➡	○コミュニティスクールの円滑な推進のためには、コーディネーターを適正に配置し、学校や市民の意識啓発を行うとともに、学校と地域を繋ぐ体制づくりを担わせるべきである。また、各課との連携を深めるためにも教育委員会内にコーディネーターを中心とした専従部署を設ける必要もある。
サテライトオフィス開設支援事業	縮小↘	○縮小事業として考えるべきである。 ○現状の成果運動型委託契約やサテライトオフィス利用条件等の見直しも必要である。 ○自然体験等の拠点化など資源の再点検を行い、地元との関わりを深くしていく事も必要である。
新産業集積地区整備事業	拡充➡	○新たな産業集積地の整備は皆で進める必要があるために、継続的に事業を進めること。 ○地権者との話し合いを密にし、納得いく対処をすること。 ○特色のある工業団地の造成とまちづくり（スイーツのまち、太陽光発電電力供給）
地域防災力強化事業	拡充➡	○国や県などの交付金等を活用し予算をもっと拡充すべきである。 ○今と昔の防災の違いを明文化し、現代に即した防災を周知し、市民の防災意識を向上させる。 ○大規模災害に備えて、防災施設、防災備蓄品の整備を行い災害に強いまちづくりを推進する。

## 本会議の様子は、議会議中継でチェック!

市議会本会議の様子をインターネットで配信しています。議会の開催日にはライブ中継も行っています。パソコン、スマートフォンやタブレット端末でぜひご視聴ください。

### ■美濃加茂市議会 議会議中継 アドレス

<https://smart.discussvision.net/smart/tenant/minokamo/WebView/rd/council.html>



美濃加茂市議会 議会議中継

検索

### 次の定例会の予定

令和5年市議会第4回定例会

11月29日(水) 初日

12月7日(木) 一般質問

8日(金) 一般質問

12日(火) 質疑

19日(火) 最終日

場所：市役所本庁舎3階 議場

時間：午前9時から(最終日は委員会終了後)

※日程は都合により変更となる場合があります。詳細は議会事務局までお問い合わせください。

## 編集後記

9月に公表された人口統計によると総人口に占める65歳以上の高齢者の割合は世界でトップの29.1%、3,623万人であり、その高齢者のうち912万人(25.2%)は仕事についており、19年連続で増加しています。人口減少、少子高齢化が進む中、単身で暮らす人も増加してきており、健康寿命への取り組み、生活サポートの充実は大きな課題です。子育て・教育・経済・福祉・健康等の計画実施、更なる推進を望みたい。

山田 栄

## 第3回定例会の議場装花



議場に飾られている花は、加茂農林高校園芸流通科の生徒さんによっていただきました。

次回の議会だよりは、令和6年2月1日を予定しています。ご意見ご感想は、市議会ホームページ(ご意見アンケート)、はがき、ファックス、メールにてお寄せください。

この広報紙は、適切に管理されたFSC®認証林、再生資源およびその他の管理された供給源からの原材料で作られています。

